MUTOH

取扱説明書

OPERATION MANUAL

[パラ助]

Liner Board UM−A1S−B

このたびは、[パラ助]ライナーボードＵＭ−Ａ１Ｓ−Ｂをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してお取り扱いください。

なお、本製品は十分調整しておりますが、万が一アフターサービスを依頼されます場合は、事前に本取扱説明書を基に再度点検のうえ、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業所までご依頼ください。

安全にご使用いただくために

取扱説明書内の ⚠警告 と ⚠注意

取扱説明書内に記載している表示の内容を危険度の高さに応じて次の２段階に分類しています。
以下の警告用語が持つ意味を理解し、本書の内容(指示)にしたがってください。

⚠警告

誤った取扱いをした際に「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意

誤った取扱いをした際に「使用者が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠注意

◆製図板には、磁気を使用したカードやディスク等を置かないでください。
　データが消失することがあります。
◆本機は絶対に分解または改造しないでください。

- **「ライナーボード及び、関連情報ホームページ」**

  弊社製品に関する情報を、以下のホームページより確認いただけます。

  http://www.mutoheng.com/

- **「ＦＡＱ 及び、メンテナンスについてのホームページ」**

  お客さまからよくあるお問い合わせと、解決方法に関する情報及び、設計機材製品のお取扱方法などの情報を、以下ホームページにて確認できます。

  http://www.mutoheng.com/dr

MUTOH

株式会社ムトーエンジニアリング

〒154-8560 東京都世田谷区池尻 3-1-3　　TEL （03)-6758-7120（代表）

●保守・サービスのご用命は、上記ＨＰより最寄りの営業所までご連絡ください。

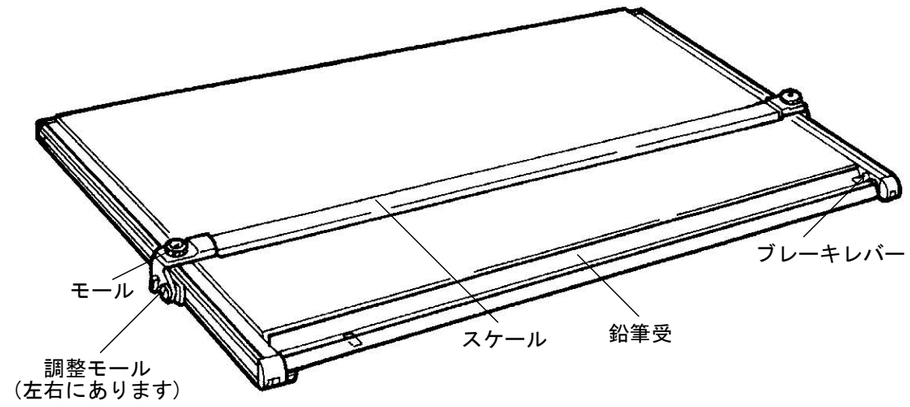
Ver1.3 2013.06

1　付属品

梱包内容と現品の照合をしてください。

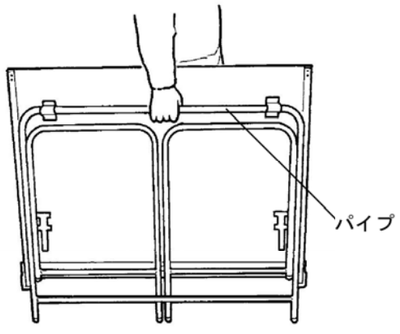
●ドラフティングプレート・・・・・1 セット（500mm×2 枚、800mm×2 枚）
●保証書・・・・・・・・・・・・・・1 枚　　（梱包箱側面に添付）

2　各部名称

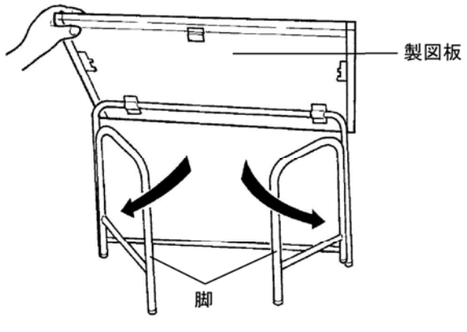


3　組立方法

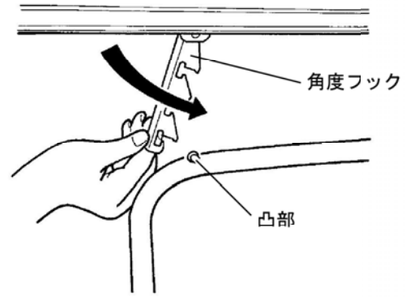
3-1　梱包箱を開梱しましたら、ご使用になる場所へ設置してください。
持ち運びの際は図のようにパイプを持って移動してください。



3-2　図のように製図板を持ちながら左右の脚部をほぼ直角になるまで手前に開いてください。



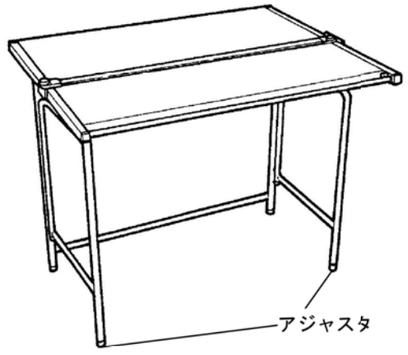
3-3　製図板の裏側にある角度フックを脚の凸部にセットしてください。（角度フックは左右にあります。）
角度フックにより製図板の角度を 0°、5°、10°の 3 段階でご使用いただけます。



⚠ 注意

◆角度フックは脚の凸部へ確実にかけてください。不十分な場合、転倒する可能性があります。

3-4　本体をご使用になる場所へ設置後、床面とのガタつきがある場合はアジャスタを回転させて
高さを調整してください。



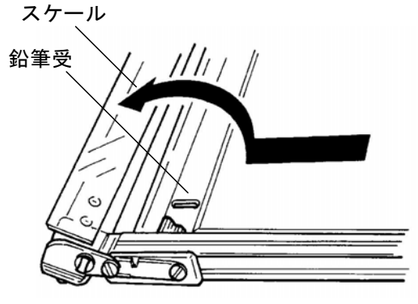
⚠ 注意

◆本体を移動するときは、スケールを固定してから移動してください。
固定しない場合、スケールが移動し破損の原因になります。
固定方法は裏面の「スケールの固定方法」をご参照ください。
◆組立てた状態で移動する場合は、角度フックが外れていないかを確認の上、行ってください。

4　各部の操作方法

4-1　図面の貼り替えと製図板の清掃方法

スケールを一番手前に移動すると、スケールが反転できます。
図面を貼り替える場合や、製図板の清掃時などに便利です。
清掃する場合は、水を含ませた布をかたく絞って拭いた後、やわらかい布で乾拭きしてください。

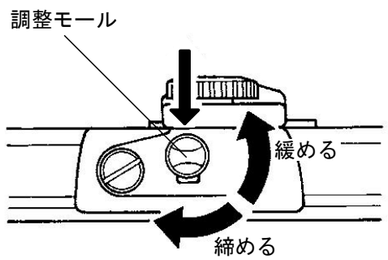


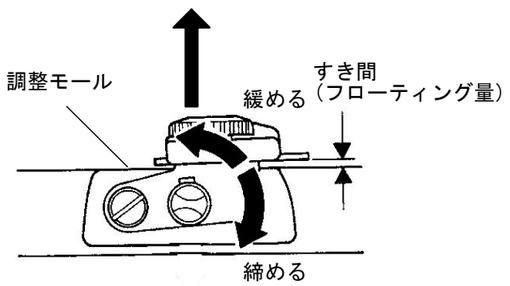
⚠注意

◆清掃する場合は、シンナーなど、樹脂部を侵すものは絶対に使用しないでください。
　変色、変形など故障の原因につながります。

4-2　フローティング調整

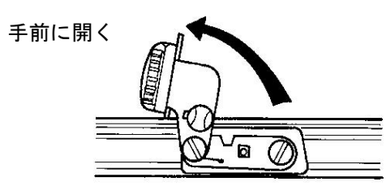
●フローティング量を大きくしたいときは、調整モールを緩めて、スケールを持ち上げた状態で調整モールを締めます。（左右）
●フローティング量をゼロにしたいときは、調整モールを緩めて、スケールを図板面に密着させた状態で調整モールを締めます。（左右）

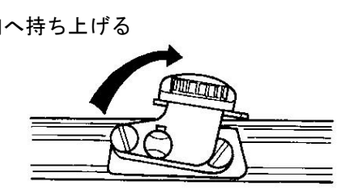




☝参考

本製品はダブルヒンジ機構を採用しています。したがって、スケールを手前に起こすだけでなく、スケール全体を 10mm 程度持ち上げることができるため、厚紙にも対応可能です。





4-3　スケールの固定方法

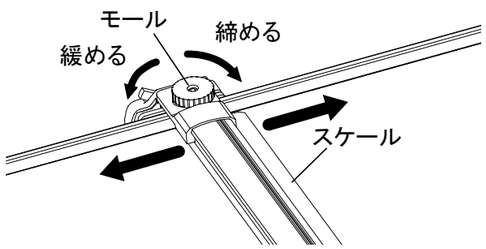
鉛筆受け右側のブレーキレバーを手前に回転させると、スケールを固定することができます。
また、ブレーキレバーを奥側へ回転させると、解除することができます。

⚠注意

ブレーキをロックさせた状態で、スケールに負荷をかけないでください。故障の原因になります。
また、長時間使用しない場合には、ブレーキをフリー状態にして保管してください。
ロック状態のまま長時間保管した場合、再使用の際に、ブレーキが解除できない場合があります。

4-4　スケールの角度調整

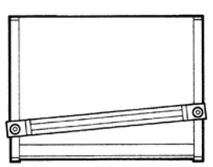
左右のモールを緩めると、スケールを±3mm の範囲で角度を調整することができます。
調整後は、左右のモールを締めてからご使用ください。
この調整は、スケールを基線に合わせるときなどに便利な機構です。
スケールを平行に戻す場合は、フローティング量をゼロにして行い、左右のモールを締めてください。



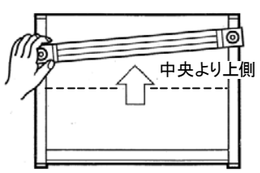
4-5　スケールが傾いている場合の平行調整

万が一、スケールが傾いた場合は下記の手順で調整してください。

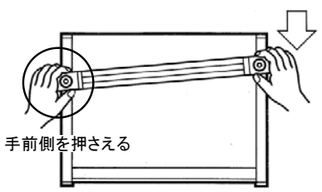
①スケールが傾いている場合



②スケールを図板の中央より上側へ移動させます。



③手前側に傾いている方を押さえてもう一方を強く手前に引きます。このときカチッと音がして、2mm 程度平行方向に動きますので、これを繰り返して平行にします。

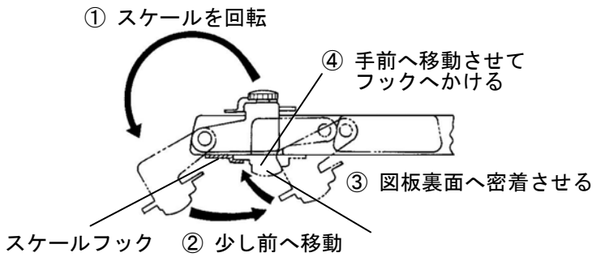


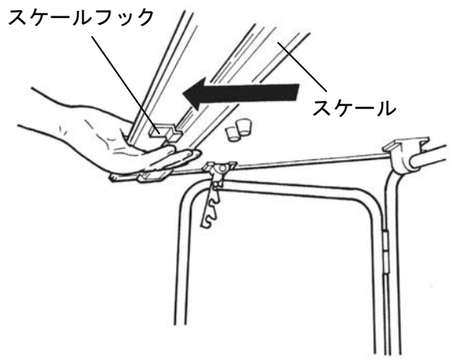
※この調整は、シンクロベルトとベルトプーリーの歯飛び現象を再調整するものです。
　ゆっくりとていねいに引くだけで、工具を使わず調整することができ、本体の精度に影響を与えません。

4-6　収納方法

使用後はスケールを反転させて鉛筆受裏側のスケールフックに固定した上で、脚を折りたたんでください。スケールの固定方法は、下図を参考に①～④の手順で行ってください。

① スケールを鉛筆受裏側へ回転させます。
② 図板裏面で少し前へ移動させます。
③ 図板裏面に密着させます。
④ 図板裏面に密着させた状態のまま手前に引き、スケールフックへ差し込みます。





5　製品のお手入れについて

ライナーボードをご使用になる場合、次のような点に注意してお手入れを行ってください。

①ライナーボードの上には、物などを置かないでください。
②スケールや、レールの摺動部などは、やわらかい布等で拭いてください。
③清掃する場合は、シンナーなど、樹脂部を侵すものは絶対に使用しないでください。
　変色、変形など故障の原因につながります。
④ライナーボードは精密機械のため、直射日光のあたる場所や高温・高湿でのご使用および、
　長時間の保管は避けてください。

保証書とアフターサービスについて

① 梱包箱側面に保証書を添付しています。お確かめください。
② 保証期間は、お買い上げいただいた日より１年間です。
③ 保証期間中に保証の範囲内で修理をご依頼される場合には、保証書を添えてお買い上げの販売店または、お近くの弊社営業所までご依頼ください。無償修理をさせていただきます。
④ 保証期間が経過した場合や、保証の適用を除外された故障の場合でも、迅速確実に修理いたします。ただしこの場合には、実費のご負担をお願いいたします。
詳細は保証書をご参照ください。

仕様

製図板	マグネード製図板
製図範囲	619×860mm
図板サイズ	625×870mm
図板角度	0°，5°，10°

駆動方式	シンクロベルト方式
スケール微動調整	±3mm / 870mm
ヒンジ	ダブルヒンジ機構
外形寸法	815×954×90mm (折りたたみ時)
質量	11.4kg